

## エイチ・アイ・エスがハウステンボス株式売却を発表-財務改善を評価するものの、旅行事業の本格回復を引き続き注目

以下は、株式会社エイチ・アイ・エス（証券コード：9603）の「当社連結子会社の株式譲渡に関する契約締結のお知らせ」についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は8月30日付で、保有するハウステンボス株式（発行済み株式数の66.67%）を香港に拠点を置く投資会社PAGが運用するプライベート・エクイティ・ファンドが管理する特別目的会社であるPAG HTB Holdingsにすべて売却する旨を発表した。売却額は666.6億円。ハウステンボスは当該特別目的会社の100%子会社となる見通しである。
- (2) 本売却によりハウステンボス収益が当社連結業績から剥落することになるものの、悪化している財務構成の改善が図られる可能性は高い。しかし一方で依然として旅行取扱高は低迷しており、回復の兆しが見えにくい状況が続いている。このため、財務体質が再び悪化する懸念が払拭される状況には至っていない。JCRでは旅行事業の回復による収支改善を確認できることが信用力評価上の重要なポイントと考えている。国内外での入国規制の緩和などの動きが本格的な業績反転の足掛かりとなるかどうか注目の点である。

(担当) 上村 暁生・加藤 直樹

### 【参考】

発行体：株式会社エイチ・アイ・エス

長期発行体格付：BB- 見通し：ネガティブ

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル